

ごんいちほ

第17号

2012.10

興道西部保育園

米沢市木場町2-9

TEL 0238-24-8558

題字 宗川詩乃

西部保育園です



当園では、子どもたちがおいしく楽しい食事ができるよう、工夫をしています。食入ることは、生活の源であり、心と体の成長・発達につながっています。様々な体験をとおして、食への関心を高め、生活力の基礎づくりを行います。

この夏、ゆり組(5歳児)みんなで栽培した野菜が、たくさん実りました。とまと、なす、びーまん、じゃがいも、にんじん...この野菜も、子どもたちが「おまきく おいしく なあれ!」とこはをかけながら大切に育てた野菜たちです。

8月、その野菜を収穫して行った「夏の収穫祭。ゆり組がカレーを調理し、幼児組の友だちにふるまいました。そのおいしさに全員が笑顔になり、大きな口をあけてお腹いっぱい味わりました。



我が家の子育て奮闘記

ゆり組 伊藤介斗くん・圭人くんの母

妊娠30週、予定よりもかなり早く生まれる事になってしまいました。介斗1646g、圭人1542gと、2人合わせて1人分というくらい小さかったのです。保育器に入り、小さな体に点滴をしながらの姿を見ると、「こめんね...」としがみえ、小さく産んでしまった事を母として、申し訳ない気持ちでいっぱいでした。早く退院して、親子水入らずで暮らせたらと毎日願っていました。ようやく願いが叶い、親子4人でゆったりと暮らせると思っていたら、大間違いだったので。初めての子育てという事もあってか、双子の育児は寝る暇もないうくらい大変だったのです。今、思いだしても辛かった事ばかり思い出せません。早く大きくなあれと、パパと2人で願ったものでした。

小さい頃は気にならなかった性格の違いが、2歳くらいから見られるようになってきました。双子だからTVによく出てくる片方がケガをしたらもう一人も痛くなるとかという事は全く無く、性格や好きな食べ物も全然違わず、双子になってきました。似ていない2人ですが、遊び相手にはなる様で3000日ケンカもするけど楽しく遊んでいます。

大きくなったら何になる?と話をすると、2人共小さい頃から変わらず、介斗はおもちゃ屋さん、圭人はお医者さんなのです。2人共「いつばいお仕事して、ママにお金あげるね。」と頼もしい事を言っていてママを感動させてくれます。

毎朝、欠かさず「タッチ、グー、握手でバイバイ。ギュー。」と子供たちからパワーをもらっています。そんなパワーをもらってこれから出社出来るのもあと半年。保育園に通えるという、当たり前のように思っている事も本当はすごい幸せな事なんだと思います。毎日過っしてきたいと思えます。そして、そんな毎日か過ごせるのも、家族や先生方のおかげと感謝の気持ちで一杯です。

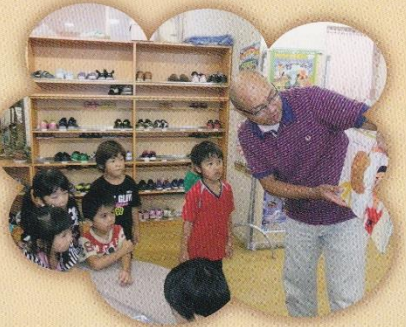


キラキラ連絡ノートより

- 夏のプールのあかげで、自宅でのシャンプーの時、「頭にジャーとかけて流しても大丈夫だよ。保育園のプールでやっているから!!」と嫌がらずにしてくるようになってので、助かります。今までは「目に入った!」「早く拭いて」とイライラしていましたが...
- おやつ、赤飯だったんですね。なぜか我が家でも赤飯でした。家では小豆を食べなかったんですが、保育園では食べたそうで。(本人が言っていました)
- みんなと食べると食べられるんですよ。(2歳 女児)

園長先生の「おはなしタイム」がだあ〜すき!

夕方、お家の人のお迎えを待つ時間。この4月より赴任した鈴木園長の『おはなしタイム』が始まります。リクエストした絵本や紙芝居をたくさん読んでもらい、子どもたちは、おはなしの世界に引き込まれていきます。お迎えにいらしたお家の方も一緒に楽しんでいます。



編集後記

いっぱい食べて、すくすくと大きくなって欲しいと願い、子どもたちと日々かかわっています。子どもたちの中には、食の細い子や苦手な食材がある子などいます。そのような子どもたちが、園での体験を通して、喜んで食べる姿へと変わっていく様子が見られ、うれしい気持ちです。インスタント食品やお惣菜、外食などで、いろいろな料理を簡単に食べることができる現代。食材に触れるなどの体験や、みんなで同じものをおいしく食べるなど、食事の環境づくりの大切さを感じています。

ほいくえんのたのしい食事

子どもたちは、保育園で一日の大半を過ごしています。食事は、空腹を満たすだけでなく、いろいろな食体験を積み重ねることで、心の栄養にもなっています。また、大好きな友だちや職員と一緒に食べることで、より豊かなものになっています。

いのちの 大切さにきづく

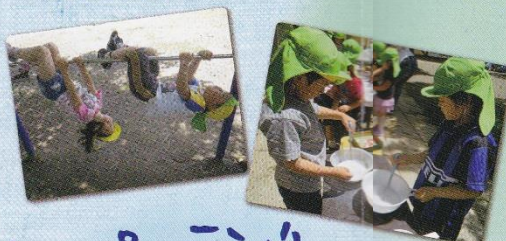
さくら組 (0歳児)

お腹がすくと、喜んでミルクを飲んだり離乳食を食べています。ゆったりとした雰囲気づくりを心がけています。



はか見組 (3~5歳児)

たくさんあそぶ



規則正しい生活と充実したあそびは、お腹がすくことにつながります。食事の時間を待ち遠しく感じる体験を大切にしています。

おあそび
な〜ん!!



野菜を育て、収穫し、自然の恵みや命の大切さに気づきます。

うめ組 (1歳児)

いろいろな食べものを、見たり触れたりしながら味わう経験をします。まだ上手にはできませんが、自分で食べようとしています。



ぶどう
みりて
たべられるよ
うになっ
たよ

ハッピーランチ

月1回のハッピーランチは、いつもと違う特別な雰囲気です。ワクワクドキドキしながら楽しい食事を味わいます。

ふれあい

調理している人とのふれあいの中で感謝の気持ちが育っていきます。



流しそうめん



おいしいよ!

マナーを身につける

挨拶や姿勢、気持ちよく食事をするためのマナーを身につけていきます。



もも組 (2歳児)

あそびのなかで畑の野菜を見たり、触れたりしています。その体験が、食事での気付きや興味につながっています。



まらまら
まわい
だね!

おまんこで
みた
ぴーまんた!!

体験する

食材の色、形、香りなどに触れて自分たちでお料理することで食への興味や関心を深めています。



よもぎだんご作り

カレー作り

ねこの
おててだよ!
まてつけて!!

食文化と出会う

旬の食材から季節を感じ、郷土料理を味わいます。



笹巻きを食べました

トウモロコシの皮を
むきました

千ク千クするう〜!

タケノコに触れました